

委員会のまとめ（0歳児おむつ無料化事業）

廃止

0歳児おむつ無料化事業について

- 子育て世帯への経済的支援は重要であるが、「0歳児」及び「おむつ」に限定する必要はない。

代替案「こども商品券」について

- 子どもの成長に合わせて幅広く使える商品券を配布する事業
- 健診時に配布することで健診率の向上に繋げるといった考えは評価できる。
- 地元経済の活性化の視点から地元店舗で使えるようにしてほしい。

子育て支援全般について

- 「生む～育てる」の各段階でネックとなっている点を解消する施策を講じることで子育てしやすい環境が作られる。
- 当該事業に限らず、内外に対し取組についてのアピールが足りていない。
- それが若い世代の移住・定住の増加ひいては歳入の増加につながることを意識して取り組むべきである。

委員の意見

【委員】 廃止

- ・ おむつ以外にも離乳食など使えるものにしたほうがよい。

【委員】 廃止

- ・ 前回の答申で「戦略的な予算の分配」を要望したが、おむつを廃止してこども商品券とすることで、応えられている。
- ・ 子育て支援をするとともに、地元経済の活性化や健診率の向上にもつなげてほしい。

【委員】 廃止

- ・ 子育ての経済的支援として行うなら、おむつに限定する必要はない。
- ・ 「地元で使える」、「健診時に配布する」こども商品券は、代替案としてよい。

【委員】**廃止**

- ・ こども商品券は、前回の答申が考慮された代替案であり評価できる。
- ・ 市内で利用できることが大事である。
- ・ 健診率の向上により、虐待や発達の遅れ等の発見に繋げてほしい。

【委員】**縮小**

- ・ 若年層の経済的支援は必要であるが、おむつだけでは効果が乏しいため、縮小し、他のサービス充てたほうが良い。
- ・ 取組のアピールが必要。
- ・ こども商品券は、極力こども用品でかつ地元店舗で使ってもらえるよう誘導するべき。

全体的に多かった意見

- せっかく良いことをやっているのに、アピールが足りない。
- 歳出を減らすことのみでなく、歳入を増やす取組も同時に必要である。それは人口流入のための取組である。住宅政策だったり、シティプロモーションだったりする。そのバランスが大事。